

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-207261

(P2000-207261A)

(43)公開日 平成12年7月28日 (2000.7.28)

(51)Int.Cl'
G 06 F 12/00

識別記号
5 2 0

17/30

F I
G 06 F 12/00
15/401
15/419

マーク (参考)
5 2 0 A 5 B 0 7 5
5 2 0 E 5 B 0 8 2
3 2 0 C
3 1 0

(21)出願番号 特願平11-9120

(22)出願日 平成11年1月18日 (1999.1.18)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 大森 健太

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

(74)代理人 100086645

弁理士 岩佐 義幸

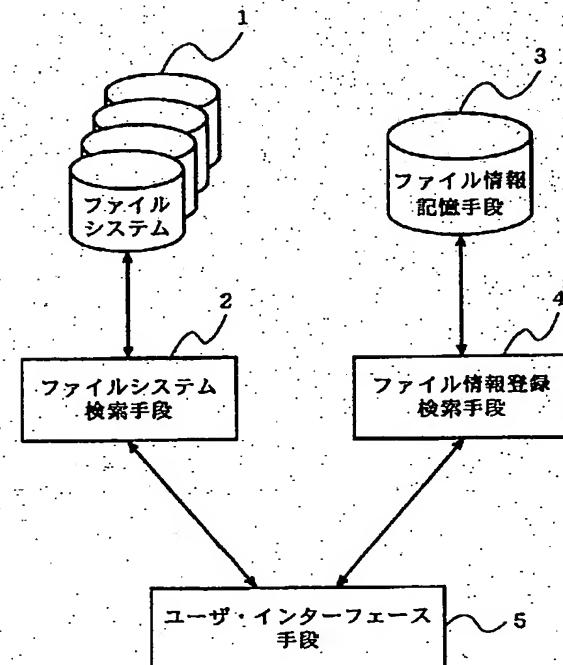
Fターム (参考) 5B075 ND35 NK02 NK04 NK13 NK25
PP22 PQ02
5B082 EA07 EA09

(54)【発明の名称】 ファイル管理システム

(57)【要約】

【課題】 ファイルに対するコメントを保持することで、ファイルの識別、管理を容易化する。

【解決手段】 パソコン、EWS等のファイルシステム1と、ファイルの特定と、それに対するコメント情報の付与、既に登録されているファイル情報の検索・閲覧するためのユーザインターフェースを提供するユーザインターフェース手段5と、ファイルシステム1をユーザインターフェース手段5の指示に基づき検索し、必要なファイルを特定するファイルシステム検索手段2と、ファイルシステム検索手段2によって特定されたファイルの、ファイル名、バス情報、コメント情報をファイル毎に記憶するファイル情報記憶手段3と、ユーザインターフェース手段5の指示に基づき、ファイル情報記憶手段3に対して情報の登録、検索、閲覧の処理を行うファイル情報登録検索手段4とを備える。



1
【特許請求の範囲】

【請求項1】ファイルのバスとファイル名、そのファイルに対するコメントをデータベースとして管理し、コメントの参照によるファイルの特定を行うことで、ファイルの検索を容易化することを特徴とするファイル管理システム。

【請求項2】パソコン、EWS等のディスク等によって構成されるファイルシステムと、

ファイルの特定と、ファイルに対するコメント情報の付与、既に登録されているファイル情報の検索・閲覧するためのユーザインターフェースを提供するユーザインターフェース手段と、

前記ファイルシステムを前記ユーザインターフェース手段の指示に基づき検索し、必要なファイルを特定するファイルシステム検索手段と、

前記ファイルシステム検索手段によって特定されたファイルの、ファイル名、バス情報、および前記ユーザインターフェース手段で入力したコメント情報をファイル毎に記憶するファイル情報記憶手段と、

前記ユーザインターフェース手段の指示に基づき、前記ファイル情報記憶手段に対して情報の登録、検索、閲覧の処理を行うファイル情報登録検索手段と、を備えることを特徴とするファイル管理システム。

【請求項3】前記ユーザインターフェース手段は、特定されたファイルに対して、アプリケーションの起動機能を付加しておくことで、検索されたファイルをそのままアプリケーションの実行に移すことが可能であることを特徴とする請求項2に記載のファイル管理システム。

【請求項4】ファイルのバスとファイル名、そのファイルに対するコメントをデータベースとして管理し、コメントの参照によるファイルの特定を行うことで、ファイルの検索を容易化することを特徴とするファイル管理方法。

【請求項5】ファイルの特定のために必要なファイル名とそのバス情報をデータベースとして保持することで、ファイルシステムのディレクトリ構造を変更することなしに、ファイルの管理を容易化できることを特徴とするファイル管理方法。

【請求項6】ファイルの特定と、ファイルに対するコメント情報の付与、既に登録されているファイル情報の検索・閲覧するためのユーザインターフェースを提供するユーザインターフェース手順と、

パソコン、EWS等のディスク等によって構成されるファイルシステムを、前記ユーザインターフェース手順の指示に基づき検索し、必要なファイルを特定するファイルシステム検索手順と、

前記ユーザインターフェース手段の指示に基づき、前記ファイルシステム検索手順によって特定されたファイルの、ファイル名、バス情報、および前記ユーザインターフェース手段で入力したコメント情報をファイル毎に記

憶するファイル情報記憶手段に対して情報の登録、検索、閲覧の処理を行うファイル情報登録検索手順とを実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

2
【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、パソコン、EWS等における階層構造で管理されるファイル管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、パソコン、EWS等のファイル管理システムでは、一般的に、互いに関連しているファイルはディレクトリ（フォルダ）として1つにまとめて格納することができる階層構造で管理されているが、それらの管理方法は、ユーザに任せられているため、人それぞれ、まちまちのルールに基づいた階層管理を行っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したように従来のファイル管理システムでは、データの管理方法は、ユーザに任せられているため、人それぞれ、まちまちのルールに基づいた階層管理を行っており、他人のデータを使用する場合、そのルールを知らない場合に必要なデータを探し出すのは、非常に困難であった。

【0004】また、自分でデータを管理する場合も、その管理ルールを決めずにその時々に応じて運用していくと、過去に使用したファイルを探す場合に、そのファイル名をわざわざした場合や、どのディスクのどの階層に入れたか等を特定できない場合、全てのディスクの全ての階層のファイルを検索する必要があり、非常に不便であった。

【0005】また、ディスクの内部の整理を行う場合に、どのファイルが必要で、どのファイルが不要かをファイル名から判断するのは、困難であった。

【0006】また、ネットワークを利用し、各種ファイルのダウンロードを行った場合に、ダウンロードしたファイル名が機械発生的に生成された名前である場合や、ファイル名からは内容が理解できない場合、ダウンロードした時点ではわかっていても、しばらくすると、何のファイルであるかわからなくなり、多くのファイルをダウンロードした場合は、それらの判別が困難になるという問題点があった。

【0007】また、ファイルの整理を行う場合、階層構造によるフォルダを多階層に作った場合、自分で全体像を把握することが困難となり、必要なファイルを探すのが困難になるという問題点があった。

【0008】この発明の目的は、パソコン、EWS等において、異なるファイルシステム、異なる階層に存在する複数のファイルに対して、それらのバスと、ファイル名を一元的に管理し、それぞれのファイルに対するコメントを保持することで、ファイルの識別、管理を容易化す

るファイル管理システムを提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】この発明のファイル管理システムは、パソコン、EWS等のディスク等によって構成されるファイルシステムと、ファイルの特定と、ファイルに対するコメント情報の付与、既に登録されているファイル情報の検索・閲覧するためのユーザインターフェースを提供するユーザインターフェース手段と、前記ファイルシステムを前記ユーザインターフェース手段の指示に基づき検索し、必要なファイルを特定するファイルシステム検索手段と、前記ファイルシステム検索手段によって特定されたファイルの、ファイル名、バス情報、および前記ユーザインターフェース手段で入力したコメント情報をファイル毎に記憶するファイル情報記憶手段と、前記ユーザインターフェース手段の指示に基づき、前記ファイル情報記憶手段に対して情報の登録、検索、閲覧の処理を行うファイル情報登録検索手段と、を備えることを特徴とする。

【0010】この発明は、コメント情報を元にしたファイルの検索を行うことができ、ファイル名からは内容が特定できないファイルや、深い階層にあり、探すのが困難なファイルの特定を容易化する。

【0011】

【発明の実施の形態】次に、この発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0012】図1は、この発明のファイル管理システムの実施の形態を示す構成図である。図1に示す発明のファイル管理システムは、パソコン、EWS等のディスク等によって構成されるファイルシステム1と、ファイルシステム1を検索し、必要なファイルを探し出すファイルシステム検索手段2と、管理するファイルの情報を保持するファイル情報記憶手段3と、ファイル情報記憶手段3に対してファイル情報の登録、検索、抽出を行うファイル情報登録検索手段4と、ファイル情報の登録等の指示を行うユーザインターフェース手段5とにより構成されている。

【0013】これらの手段は、それぞれ概略、次のように動作する。

【0014】ファイルシステム検索手段2は、パソコン、EWS等のディスク等で構成されるファイルシステム1をユーザインターフェース手段5の指示に基づき検索し、必要なファイルを特定する。

【0015】ファイル情報記憶手段3は、ファイルシステム検索手段2によって特定されたファイルの、ファイル名、バス情報、およびユーザインターフェース手段5で入力したコメント情報をファイル毎に記憶する。

【0016】ファイル情報登録検索手段4は、ユーザインターフェース手段5の指示に基づき、ファイル情報記憶手段3に対して情報の登録、検索、閲覧の処理を行う。

【0017】ユーザインターフェース手段5は、ファイルの特定と、それに対するコメント情報の付与、既に登録されているファイル情報の検索・閲覧するためのユーザインターフェースを提供する。

【0018】次に、この発明の実施の形態の動作について図1～図4を参照して詳細に説明する。

【0019】図2は、ユーザインターフェース手段5の提供するユーザインターフェースを示す図であり、図3は、ファイル情報登録検索手段4のファイル情報登録処理を説明するフロー・チャートであり、図4は、ファイル情報登録検索手段4のファイル情報検索処理を説明するフロー・チャートである。

【0020】まず、ファイル情報登録処理について説明する。図3を参照すると、ファイル登録処理は、次の手順で行われる。

【0021】最初にファイルの選択ステップ12では、図2に示すユーザインターフェース手段5のファイル検索部6と連携し、ファイルシステム検索手段2を介してファイルシステム1から登録したいファイルの指定を行う。

【0022】次に、登録済確認ステップ13では、ファイルの選択ステップ12で指定されたファイルが、ファイル情報記憶手段3に登録されているかを、ファイル情報登録検索手段4を介して確認する。

【0023】指定したファイルが、ファイル情報記憶手段3に登録されている場合、登録済情報の読み込みステップ14に進み、ここでは、ファイル情報登録検索手段4を介して、ファイル情報記憶手段3に記録されている、指定ファイルのファイル情報を読み出し、図2に示すユーザインターフェース手段5のファイル名表示部7、バス名表示部8、コメント入力・表示部10に表示する。

【0024】次に、コメント情報の設定（変更）ステップ15では、図2に示すユーザインターフェース手段5のコメント入力・表示部10を介して、必要コメントの入力をユーザに促す。

【0025】最後に、ファイル情報の登録ステップ16では、ファイルの選択ステップ12で指定されたファイルと、コメント情報の設定（変更）ステップ15で入力されたコメント情報を、ファイル情報登録検索手段4を介して、ファイル情報記憶手段3に登録する。

【0026】以上で、登録処理が完了する。

【0027】次に、登録されたファイルの検索時のファイル情報検索処理について説明する。図4を参照すると、ファイル情報検索処理は、次の手順で行われる。

【0028】最初に、登録情報の検索ステップ17は、図2に示すユーザインターフェース手段5の検索実行ボタン11が押されることで、検索処理が開始され、検索語指定部9に指定された文字をキーワードとして、ファイル情報記憶手段3の検索を行う。

【0029】なお、キーワードによる検索は、ファイル名、バス名、コメント等、いずれに対してもできるよう にしてもよい。また、検索語指定部9に何も指定しない場合は、登録されているすべての登録情報を、ユーザ インターフェース部5に表示してもよい。

【0030】登録済確認ステップ18では、検索の結果、見つかったか見つからなかったかの確認を行い、見つからなかった場合は、再度検索確認ステップ19に行き、ユーザに再度検索の有無の確認を促す。

【0031】登録済の場合は、登録情報の読み込みステップ20によって、ファイル情報記憶手段3から、一致したファイル情報を読み込み、その情報を図2に示すユーザインターフェース手段5のファイル名表示部7、バス名表示部8、コメント入力・表示部10に表示する。

【0032】以上で、ファイル情報検索処理が完了する。

【0033】以上のように、ファイルシステムのファイルの情報をコメント情報と共にファイル情報として記憶しておくことで、コメントを元にした検索を可能とする。

【0034】なお、ユーザインターフェース手段5に特定されたファイルに対して、アプリケーションの起動機能を付加しておくことで、検索されたファイルをそのままアプリケーションの実行に移すことが可能となるよう にしてもよい。

【0035】また、この発明は、プログラムによって実行できるものとする。

【0036】ここで、先行技術として、特開平6-309205号公報には、異なる階層のファイルを一元管理し、ファイルにコメント付加するファイル管理方式が開示されているが、この公報に記載の発明は、単にコメントをファイル名とともに一覧表示するのみであり、この発明のように入力したコメント情報によりファイルを検索できるものではなく、この発明とは、技術内容を異にしている。

【0037】

【発明の効果】以上、説明したように、この発明は、必要なファイルのファイル名とそのバス情報およびコメン

トをファイル情報として記憶しているため、ファイルの登録情報を元に階層を特定できるため、複雑なファイルシステムにおける環境においても、いろいろな場所に保存されている必要な複数のファイルを、階層を追いかけることなく、特定することができる。

【0038】また、この発明は、コメントをファイル情報として記憶することで、そのコメント情報からファイルの内容の特定が容易となるため、ファイル名からファイルの内容を特定の難しいファイルの内容の特定をファイル名を変更することなく、容易にできる。

【0039】さらに、この発明は、ファイル情報としてファイルのバス情報を、ファイル名を記憶しているため、任意のディレクトリに分散していても、ファイル情報を元に一元的に管理されるため、ファイル管理を行いう際に、既存の階層構造を変更することなく、必要なファイルの管理を容易化できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のファイル管理システムの実施の形態を示す構成図である。

【図2】ユーザインターフェース手段5の提供するユーザインターフェースを示す図である。

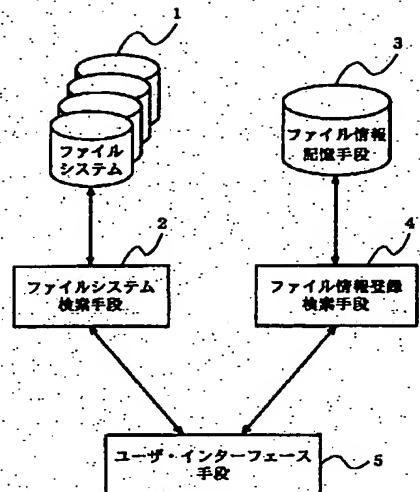
【図3】ファイル情報登録検索手段のファイル情報登録処理を説明するフローチャートである。

【図4】ファイル情報登録検索手段のファイル情報検索処理を説明するフローチャートである。

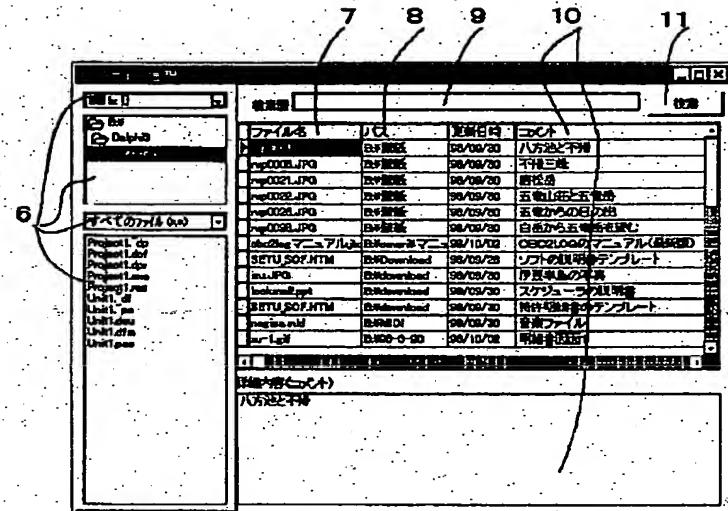
【符号の説明】

- 1 ファイルシステム
- 2 ファイルシステム検索手段
- 3 ファイル情報記憶手段
- 4 ファイル情報登録検索手段
- 5 ユーザインターフェース手段
- 6 ファイル検索部
- 7 ファイル名表示部
- 8 バス名表示部
- 9 検索語指定部
- 10 コメント入力、表示部
- 11 検索実行ボタン

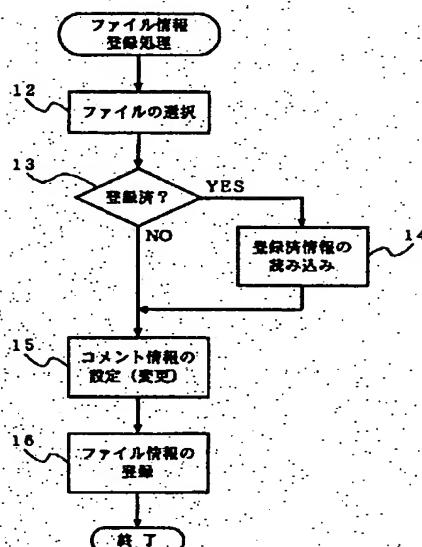
〔図1〕



〔図2〕



〔図3〕



〔圖4〕

